

事務事業マネージメントシート

作成日 平成27年05月07日

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

| | | |
|---------|--|---|
| 目的妥当性評価 | ①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか? | <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公共施設の維持管理の一部を市民の協力を得て行う事業であり、市民と協働のまちづくりの一環として取り組む意識づくりをするもので施策に結びつく。 |
| | ②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か? | <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公共施設（道路、側溝、排水路）の維持管理の一部であり公共関与は妥当である。 |
| | ③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか? | <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 「みんなでつくる地域づくり事業」のメニューとして実施するものであり、区が対象となっている。 「地域で出来ることは地域で」取り組む意識づくりをするため、愛護精神を培うという意図は適切である。 |
| 有効性評価 | ④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか? | <input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 事業実施区が増えれば成果向上の期待ができる。 |
| | ⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? | <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 廃止すると道路の管理費が嵩むとともに、市民に対する道路愛護精神の醸成のため廃止・休止はできない。 |
| | ⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか? | <input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない |
| | ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか? | <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない |
| 効率性評価 | ⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) | <input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業費は、参加者の飲み物代等であり、人件費的な作業費用は市民の無償ボランティアで実施されており最小限の事業費なので削減できない。 |
| | ⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど) | <input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 申請書の受理、審査及び実績報告書の受理、審査等に要する経費であり、最小限の人件費であるので削減できない。 |
| 公平性評価 | ⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか? | <input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域の公共施設の維持管理の一部を行ってもらうことに対する助成金である。 |

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）

廃止 見直し (: 目的妥当性 : 有効性 : 効率性 : 公平性) 統合 継続

(3) 改革・改善による期待成果

| | | コスト | | |
|----|----|-----|----|----|
| | | 削減 | 維持 | 増加 |
| 成果 | 向上 | | | |
| | 維持 | | | |
| | 低下 | | | |

(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？

本事業の趣旨を理解してもらうために、区長町会議等において説明し周知する。
また、清掃作業等において、必要不可欠と認められる使用備品等の補助対象枠を拡大し、参加協力区の増を推進する。

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

記述説明不足（説明責任不充分） 評価内容が客観性を欠く 評価内容は客観的と言える

(2) 2次評価者としての評価結果

| | |
|---|---|
| ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり |
| ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり |

(5) 改革・改善による期待成果

| | | コスト | | |
|----|----|-----|----|----|
| | | 削減 | 維持 | 増加 |
| 成果 | 向上 | | | |
| | 維持 | | | |
| | 低下 | | | |

(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性

廃止 休止 目的絞込み 目的拡充
 事業統廃合 事業のやり方改善
 予算削減 予算増大
 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(4) その他2次評価会議で指摘された事項

周知方法等について要検討。
多くの区に参加してもらうことで、市の道路維持清掃負担が費用を含め軽減される。